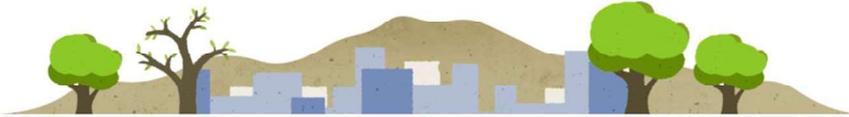


## 草津市産業振興計画に関連する取組について

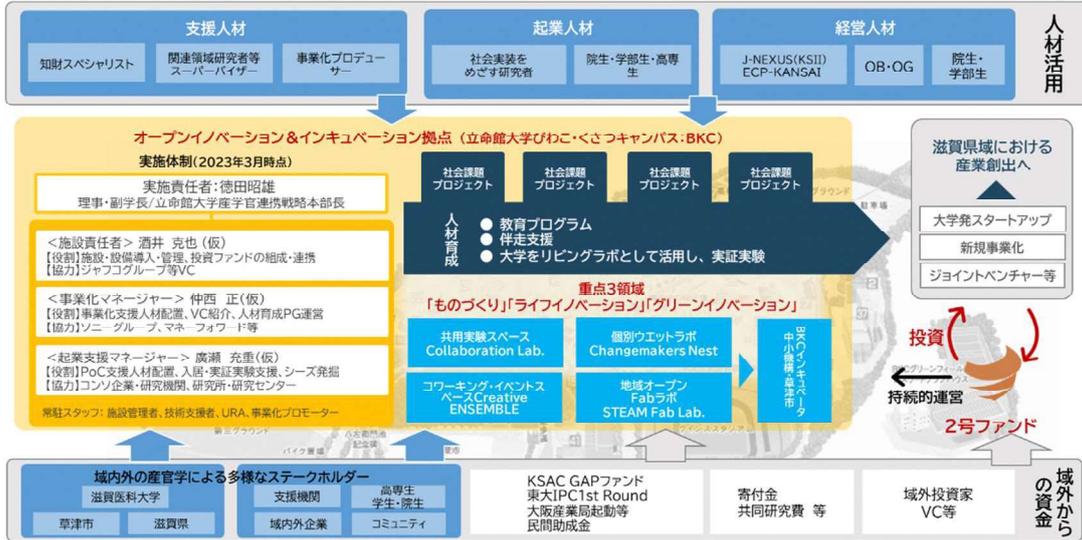
団体名：立命館大学

担当者：廣瀬充重

関連する項目	戦略1：イノベーションの創出支援
	施策（2）：スタートアップ企業等の集積促進
	主な取組事例：立命館グラスルーツイノベーションセンター（GIC）について
<p>2030年代に立命館大学が目指すべき大学のあり方として、研究活動を通じて社会課題を解決し、社会的価値を創出する「次世代研究大学」の実現を目指している。このため、2021年6月にオープンイノベーションを通じた起業・事業化をワンストップで推進する起業・事業化推進室を立ち上げ、各部門にてそれぞれ実施してきた研究シーズの事業化とアントレプレナーシッププログラムを社会実装の取り組みの中で連動させ、社会還元に結びつけるプロジェクトの起ち上げに着手した。</p> <p>立命館学園では、「グラスルーツ・イノベーション（草の根型産学官地連携）」をスローガンに掲げ、課題解決を必要とする地域、場所に研究者・学生が赴き、その場で実装し、システムとして根付かせる研究・地域連携の新たなアプローチを行ってきた。</p> <p>Grassroots Innovationは「草の根」と「イノベーション」をかけた言葉です。「グラスルーツ」は草の根であり「ルーツ」には力を合わせるという意味があります。</p> <p>地域の様々な課題に関わる人々がつながり、そこでの知と実践をタネとして、イノベーションを生み出す。これが、立命館の目指すイノベーションのカたち、「グラスルーツ・イノベーション」です。</p> <p>立命館学園では、さらに、広く地域を超え、よりよいくらしや社会作りへの価値を創出することまでを「グラスルーツ・イノベーション」と呼び、社会への価値創造や、ソーシャルインパクト創出におけるポリシーとしています。</p> <div style="text-align: center;">  <p><b>GRASSROOTS INNOVATION</b> グラスルーツ・イノベーション</p> </div>  <p>これらの取り組みを基盤に、経済産業省 令和4年度「地域の中核大学等のインキュベーション・産学融合拠点の整備」の採択を受けて「グラスルーツイノベーションセンター（GIC）」を2025年7月の開設を予定している。GICを中心に、学生・研究者・企業・地域がつながり、新たな発想を形にし、社会課題解決に挑戦する「オープンイノベーション・プラットフォーム」を形成し、新たな社会を拓くイノベ</p>	

シオン人材・創発性人材の育成をリードし、大学発スタートアップの創出や、産学連携による社会実装を推進することを目指している。

### 立命館グラスルーツイノベーションセンター



GIC では、以下のとおり多様な施設・設備を備えており、地域に根ざしたプロジェクトから、世界へ羽ばたくイノベーションまで、「知」と「人」と「社会」が交差する実践フィールドとして、多様なチャレンジを支援していく。

施設	機能
[1F] コワーキングスペース	イベント・ワークショップや、経営人材育成のための教育プログラムの実施、情報・意見交換などができるコワーキングスペース。
[1F] GIC Fab	あらゆる人が気軽に試作できる開かれた大規模ファブラボ。スタッフが常駐し、アイデアの具現化を支援します。小学生からの STEAM 教育拠点としても展開する。【滋賀県初のオープンモノづくりラボ】
[2F] Startup Lounge 【登記可能】	Communal Lab・GIC Lab の間に設置された、入居者が交流できるラウンジ。多様なバックグラウンドを持つ人々が出会い、新たな価値を生み出す。
[2F] Communal Lab	入居者が交流できる共用ラボ。PoC・プロトタイピングに特化した分析・評価・試作装置を設置し、多様なチャレンジを支援する。
[2F] GIC Lab 【登記可能】	シード期～アーリー期のスタートアップ向けのインキュベーション施設。新たな発想を形にし、社会課題解決に挑戦する拠点となる。

# グラスルーツイノベーションセンター (GIC) について

GRASSROOTS INNOVATION CENTER

立命館大学びわこ・くさつキャンパスに2025年7月オープン

未来を動かすのは、ここで生まれる「小さな芽」。GICは、知と実践をつなぎ、可能性を広げます。

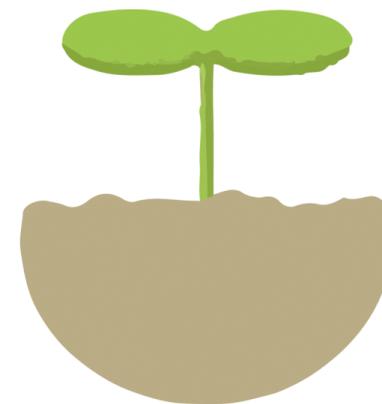
Grassroots Innovationは「草の根」と「イノベーション」をかけ合わせた言葉です。

「グラスルーツ」は草の根であり「ルーツ」には力を合わせるという意味があります。

地域の様々な課題に関わる人々がつながり、そこでの知と実践をタネとして、イノベーションを生み出す。

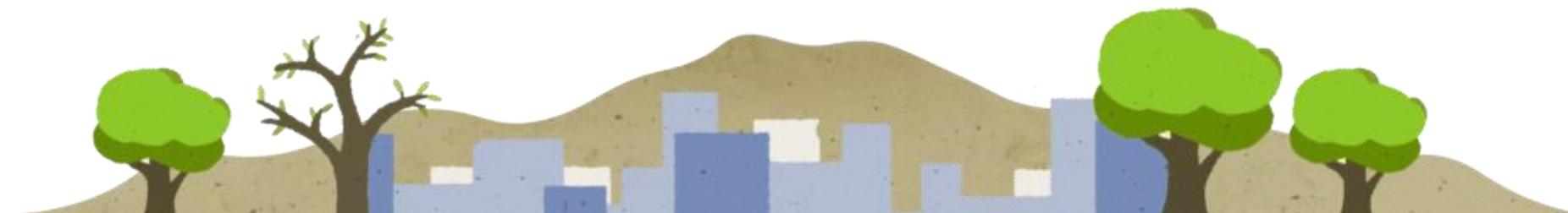
これが、立命館の目指すイノベーションのカタチ、「グラスルーツ・イノベーション」です。

立命館学園では、さらに、広く地域を超え、よりよいくらしや社会作りへの価値を創出することまでを「グラスルーツ・イノベーション」と呼び、社会への価値創造や、ソーシャルインパクト創出におけるポリシーとしています。



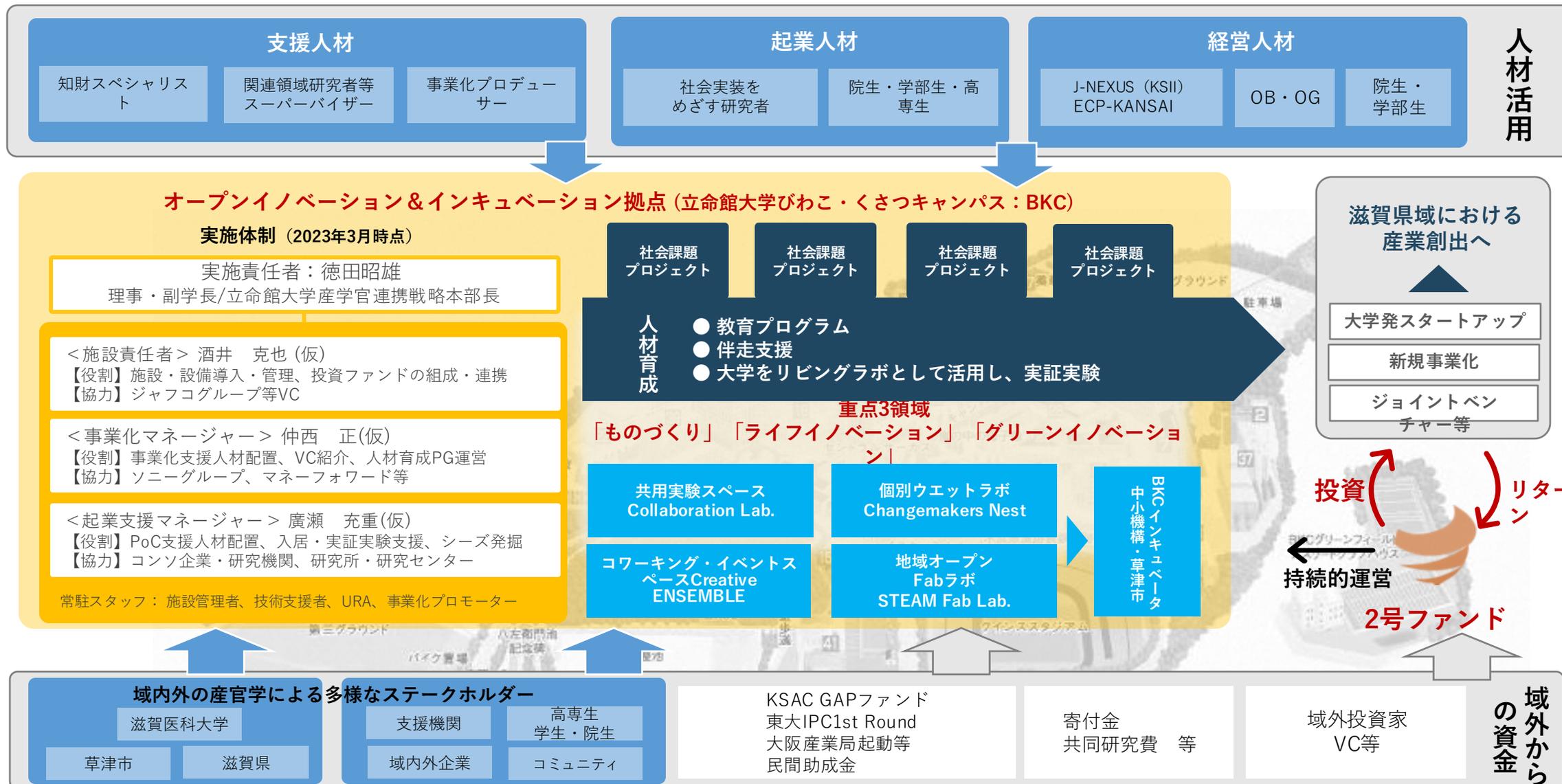
# GRASSROOTS INNOVATION

グラスルーツ・イノベーション



# グラスルーツイノベーションセンター (GIC) 構想

## グラスルーツイノベーションセンター



知をつなぎ、社会に活かし、挑戦する人を育てる。

学生・研究者・企業・地域が交わり  
新しい価値を生み出す場

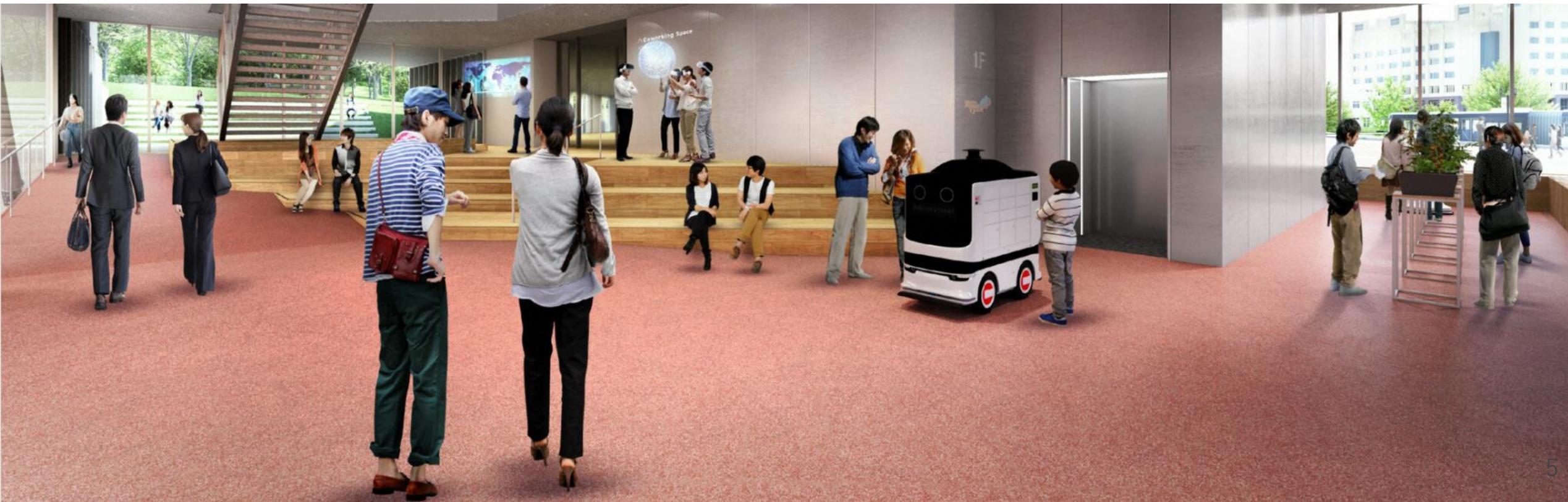


未来を切り拓く創発性人材の育成と  
新たな学びの実践

研究成果を社会へ還元し  
スタートアップ創出と事業化を支援

## 挑戦する人のための、実践フィールド。

学生・研究者・企業・地域がつながり、新たなアイデアを形にし、社会課題解決に挑戦する。  
地域に根ざしたプロジェクトから、世界へ羽ばたくイノベーションまで、  
「知」と「人」と「社会」が交差し、多様なチャレンジを支える。  
GICは、挑戦する人のための実践フィールドとして様々な施設・設備を備えています。



## 1F コワーキングスペース

イベント・ワークショップや、経営人材育成のための教育プログラムの実施、情報・意見交換などができるコワーキングスペース。



## 1F GIC Fab 滋賀県初のオープンモノづくりラボ

あらゆる人が気軽に試作できる開かれた大規模ファブラボ。スタッフが常駐し、アイデアの具現化を支援します。小学生からのSTEAM教育拠点としても展開します。

2F Startup Lounge **登記可能**

Communal Lab・GIC Labの間に設置された、入居者が交流できるラウンジです。多様なバックグラウンドを持つ人々が出会い、新たな価値を生み出します。

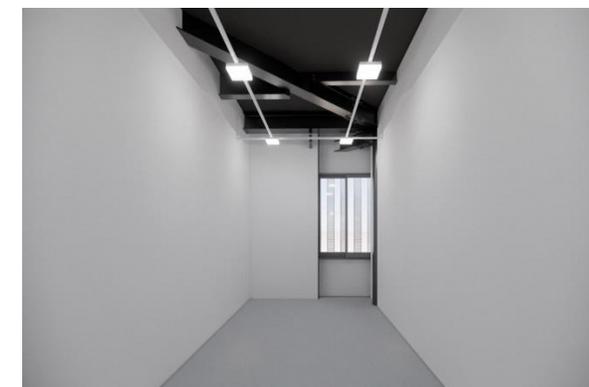


## 2F Communal Lab

「ものづくり」「ライフイノベーション」「グリーンイノベーション」に分かれた、入居者が交流できる共用ラボ。PoC・プロトタイピングに特化した分析・評価・試作装置を設置し、多様なチャレンジを支えます。

2F GIC Lab **登記可能**

シード期～アーリー期のスタートアップ向けのインキュベーション施設です。新たな発想を形にし、社会課題解決に挑戦する拠点です。

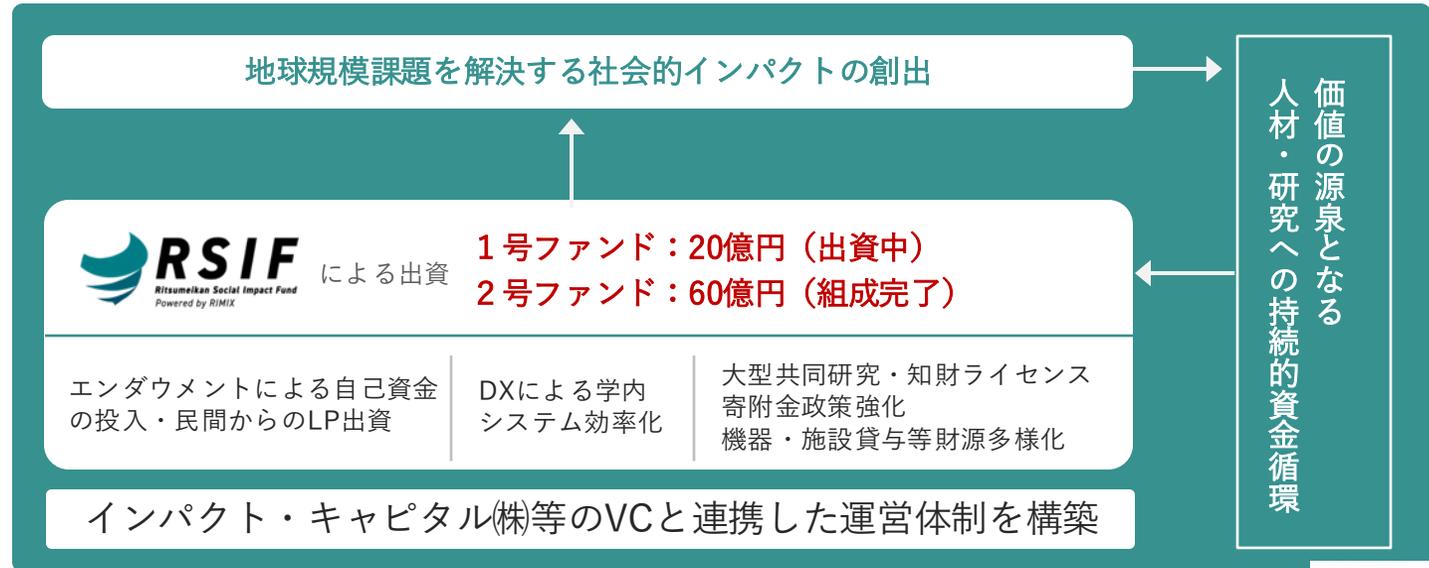




- 立命館ソーシャルインパクトファンド (RSIF) は、**学校法人立命館の100%出資**にて設置された**投資ファンド**
- 第2号ファンドとして、**かんぽ生命**からもLP出資を受ける体制 (**60億円のファンド**) を新たに構築
- スタートアップへの資金供給と、**リターンを元にした資金循環**により、SX研究開発拠点の持続性に貢献

## 第1号ファンド概要

ファンド規模 | 20億円  
 設置時期 | 2020年4月  
 名称 | 立命館ソーシャルインパクト  
 ファンド投資事業有限責任組合  
 運用期間 | 10年



## 出資先 (一部)

現在、15社に対し9億円の投資

<p><b>Innovare株式会社</b></p> <p>グリーンエネルギーの技術の普及や実装を推進</p>	<p><b>WOTA株式会社</b></p> <p>「人と水の、あらゆる制約を取り払う」をビジョンに水道依存型社会（大規模集中型）を解決</p>	<p><b>株式会社komham</b></p> <p>独自の微生物テクノロジーを使用した廃棄物処理技術の提供</p>	<p><b>Patentix株式会社</b></p> <p>次世代半導体材料「二酸化ゲルマニウム」(GeO<sub>2</sub>)を用いた半導体基板・パワーデバイスの研究開発</p>	<p><b>株式会社AmaterZ</b></p> <p>ネットワークシステムを備えるミニセンサーでエコで拡張性のある環境センシングを実現</p>	<p><b>株式会社ベホマル</b></p> <p>バイオマスCO2吸収材およびそれを用いたプラスチック製品「DACプラ」の開発製造販売</p>
---	--	---	--	---	--